

マスコミ各位

平成29年7月19日（水）

沖縄県保健医療部地域保健課 結核感染症班

担 当：山内、仁平

電 話：098-866-2215

インフルエンザの流行状況について ～注意報発令～

1 概要

県内のインフルエンザ患者が増加している件については、平成29年7月5日付け及び7月13日付けで情報提供をしておりますが、第28週（7月10日～7月16日）における感染症発生動向調査でのインフルエンザ定点あたりの報告数が11.26人（定点医療機関58ヵ所、報告数653人）となり、インフルエンザ注意報発令基準である定点あたり報告数10人を超えましたので、注意報を発令いたします。

これから夏休みとなり外出する機会が増えるため、感染が拡大する可能性がありますので、マスコミの皆様もインフルエンザ感染症対策の周知について、改めてご協力いただきますようお願いいたします。また、県民の皆様におかれましては、引き続き「手洗い」や「咳エチケット」などの感染予防策を徹底していただきますようお願いいたします。

なお、第28週における保健所別定点あたり患者報告数は、南部保健所が20.57人で最も多く、次いで那覇市保健所10.67人、中部保健所9.50人、八重山保健所7.33人、宮古保健所3.00人、北部保健所2.60人の順となっています。

2 インフルエンザの流行状況

感染症発生動向調査事業において県内のインフルエンザ58定点医療機関（小児科定点:34、内科定点:24）の協力を得て、患者情報を週単位で収集し、全国約5,000カ所の定点情報と併せて分析し、県民及び医療機関に情報を提供しています。

定点当たりの患者報告数（直近の7週間）

	週	22週	23週	24週	25週	26週	27週	28週
		5/29 ～6/4	6/5 ～6/11	6/12 ～6/18	6/19 ～6/25	6/26 ～7/2	7/3 ～7/9	7/10 ～7/16
県	患者数	332	334	376	461	472	510	653
	定点当	5.72	5.76	6.48	7.95	8.14	8.79	11.26
全 国	患者数	2,100	1,539	1,265	1,151	1,012	902	
	定点当	0.42	0.31	0.26	0.23	0.20	0.18	

※感染症発生動向調査システム上の警報・注意報の発令基準値

流行注意報：定点あたり10人以上
流行警報：定点あたり30人以上
警報終息：定点あたり10人未満

県内の型別患者報告数（直近の7週間）

週	22週 5/29 ～6/4	23週 6/5 ～6/11	24週 6/12 ～6/18	25週 6/19 ～6/25	26週 6/26 ～7/2	27週 7/3 ～7/9	28週 7/10 ～7/16
A型	60	60	77	119	166	194*	324*
B型	221	242	275	308	249	267*	269*
不明	51	32	24	34	57	50	61

*1名は医療機関よりA B共に陽性として報告

休校、学年・学級閉鎖の状況

第28週（7月10日～7月16日）に、1小学校から1学級閉鎖、1高等学校から1学級閉鎖の報告があります。

3 インフルエンザにかからないために（チラシ参照）

（流行時の予防方法）

- ① 食事の前や帰宅後には、必ず「手洗い」をしましょう。
- ② バランスよく栄養を摂取し、十分な睡眠をとりましょう。
- ③ 「咳エチケット」を実行しましょう。
- ④ 室内の換気に気をつけ適切な湿度を保ちましょう。
- ⑤ インフルエンザ流行中は、不要不急の外出を避けましょう。

4 インフルエンザに罹ってしまったら

- ① かかりつけ医にまず相談、受診しましょう（救急医療をつぶさない）。
- ② 感染を広げないために、会社や学校を休み、安静にしましょう。
- ③ マスクを着用し、咳やくしゃみをする時は「咳エチケット」を守りましょう。

5 注意喚起のお願い

県では、インフルエンザの予防及び蔓延防止を図るため、別添チラシを作成し、関係機関へ配布しております。マスコミの皆様もインフルエンザの予防等の周知について、ご協力いただきますようお願いいたします。

※チラシは、沖縄県感染症情報センターホームページからダウンロードできます。

<http://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjouhou/home.html>

インフルエンザまん延防止のお願い

インフルエンザをうつさないために

咳エチケットを忘れずに

せき・くしゃみは
ティッシュで!

マスクを
しよう!

ティッシュが無ければ
せき・くしゃみは
にのうで!



咳エチケット

咳エチケットをしないと...

咳やくしゃみをするときに手を使ったり、そのままくしゃみをして
しまうとウイルスが広がってしまい二次感染の恐れがあります。



ウイルスがドアノブに!

ウイルスが周りの人に!

インフルエンザにうつらないために 日ごろから気をつけましょう

どうして手洗いが大切なの？



外から帰ったあと



咳やくしゃみを手でおさえたあと



食事の前



トイレのあと

インフルエンザが人から人へうつってしまう原因は、咳やくしゃみをした時に手でおさえたあと、手を洗わずに様々な場所をさわったり、他の人があとからその場所にふれ、自分のはなや口にふれたり、食事をしたりすると、ウイルスが体内に侵入し感染してしまうのです。自分の身と、感染をふせぐためには外から帰ったあとや食事前の手洗いを必ずおこないましょう。

感染を防ぐために



予防チェック

日ごろしているものを
チェック!

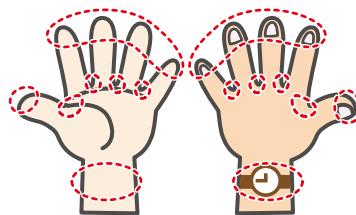
- 食事の前や帰宅後には必ず手洗い、うがいをする
- バランスのいい食事に努めている
- 休養を心がけて、睡眠時間を確保するようにしている
- インフルエンザの予防接種を受けている
- インフルエンザが流行しだしたら、不要不急の外出を避ける
- 咳エチケットを知っていて、実行している

手洗いの方法

- ポイント 1 爪は短く切る
- ポイント 2 時計や指輪ははずす
- ポイント 3 石けんをよくあわ立て、最後は十分に水で流す
- ポイント 4 ペーパータオルや清潔なタオルでよく拭き取って乾かす



汚れが残りやすいところ



- 指先や爪の間
- 手首
- 指の間
- 親指の周囲
- 手のしわ

インフルエンザの予防に関する相談窓口

北部保健所 Tel:0980-52-5219 / Fax:0980-53-2505

中部保健所 Tel:098-938-9701 / Fax:098-938-9779

南部保健所 Tel:098-889-6591 / Fax:098-888-1348

宮古保健所 Tel:0980-73-5074 / Fax:0980-72-8446

八重山保健所 Tel:0980-82-4891 / Fax:0980-83-0474

那覇市保健所 Tel:098-853-7971 / Fax:098-853-7967

相談受付 平日 午前8時30分～午後5時15分

子どもの急な病気に困ったら、まず☎!

小児救急電話相談

受診した方が良いのか、様子のみても大丈夫なのか、看護師や医師が電話でアドバイスします。

プッシュ回線の
固定電話・
携帯電話からは、
局番なしの

#8000

※相談日時は、毎日夜間午後7時～午後11時

お問い合わせ ▶ 沖縄県保健医療部健康長寿課 Tel.098-866-2209 Fax.098-866-2289
インフルエンザ情報 ▶ 沖縄県感染症情報センター
ホームページ URL: <http://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjouhou/influ.html>